

愛知スキー協通信 No.316

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2021年6月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

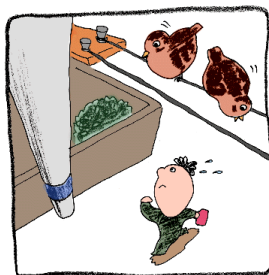
e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：シクラメンスキークラブ
& サザンクロススキークラブ

7月4日は、愛知スキー協会 総会です



文責 愛知スキー協理事長・技術部長兼任 寺田 康男

(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)

労働会館3F 会議室で Zoom を併用して総会を開催したいと理事会で準備中です。人員体制、会議の開催方法、役員会選挙の仕方を変える必要があると思っています。

48期 では「クラブを10倍たのしくする為の要求」を、要求の形（項目と質）の違い毎に4種類に分類しました。

49期 では、其れをさらに前進させ、今の情勢（コロナ・暖冬・教育不足）にあった要求として追求し、実現の為の具体的な策（どう動くか）を方針としました。

50期 では、コロナ禍が続くと想定して、集団で行動出来なくても、追求できるスキー協らしさと楽しみ方を考えていきます。

4種類の要求事項は、引き続き追求して行きますが、皆さんの要求になっていますか？役員が総会議案書の為だけに作った飾り物になっていませんか？この時期だけでもかまいません。みんなでスキー協をどうするかを考えていきましょう。

A 「今は、集まれなくても必要な **情報**を正しく、**定期的に** 必ず伝えてほしい」

B 「スキーを続けるための **健康**な体づくりを**習慣** 付ける」

C 「難しいことを集団の **組織力**で**実現** する」

D 「出来るだけ **らくに、たのしい環境** がほしい」



クラブでも議論して、その様子を理事に託して理事会や総会に上げてきてください！
各個人の意見があれば直接寺田康男にメール送信ください！

携帯アドレス tera-.ski@docomo.ne.jp パソコンアドレス yasuohiromi@mta.biglobe.ne.jp

ゴールデンウィーク ポール合宿 in 野沢温泉スキー場

昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため5月のポール合宿は中止となってしまいましたが、今年はあるだろうかと心配していました。ゴールデンウィークに向けて感染者が日を追うごとに増えてきていて、熟考の上キャンセルする人もいましたが、何とか決行することができました。とは言っても毎年家族ごと参加してポール合宿をけん引していたイエティからの参加者が今年ぐっと減ってしまっ



て、澤田ファミリーの三人だけでした。愛知からは他に深雪と直滑降から1名ずつ、三重から1名の参加でした。それに代わり例年この時期には白馬八方スキー場で滑っていた静岡の6人が、今年は野沢の方に参加して、賑やかしてくれました。野沢の雪は比較的良好で、特に3日の朝、ゲレンデはうっすら雪化粧となり、とても気持ちよく滑れました。しかし、さすがに温暖化の影響は逃れられず、野沢も雪は少なくポールを張れる所は限られていて、ゲレンデ使用は午前と午後、他のチームと交代で使うことになり、またコースが狭いのでGSはできずにSLのみの練習となりました。私はSLが苦手だったので集中的に練習ができてよかったです。一緒に練習した人達から、かなりダメ出しがあり、なかなか思うような滑りができずに悔しい思いもしましたが、このゴールデンウィークの長期間の練習で少しは良い滑りができるようになったのではないかと思います。

それともう一つの成果がありました。中学生の澤田藍雅君がゲレンデから帰ると率先してワックスがけをしていたので、その影響で私も皆さんに教えてもらい、ほぼ自分でできるようになりました。先回のポール合宿や第二戦の時に、固形ワックスで手入れをした方がよいとの助言が多くの人からあり、ワイプとアイロンをアマゾンで購入していたのですが、使わないだろうなど、秘かに思っていました。ところが私の部屋がチェーンアップ室の隣で、いやでもやらざる得ない状況になっていました。ワックスがけは競技では必須なのかなとは思っていたので、競技をやる上ではよかったのではないかと思います。

野沢温泉スキー場は今年ゴンドラが新しくなり、終点までまっすぐに行くようになったのでとても早くなりました。ゴンドラの中でスキー靴に履き替えているうちに到着してしまうほどでした。まっすぐに上るコースは山の風の影響も強く、最後の日はゴンドラが止まってしまいました。そのようなわけで、合宿は1日早く終わりました。新型コロナ禍で大変な中、また温暖化で困難な中、身体を動かしてスポーツを楽しむことができたことに感謝しかありません。

(安藤)

乗鞍岳、摩利支天から位ヶ原山荘まで滑る

緊急事態宣言発令のため5月15日・16日の全国スキー協山スキー部主催の「乗鞍雪渓大滑降交流会」の行事が中止となり、滋賀、愛知、岐阜、岩手の有志が集まって実施することになりました。岩手県、大阪府も含めたスキーヤー28名が集まりました。うち愛知からは12名でした。宿は乗鞍高原、民宿「美鈴荘」でした。24時間入浴できるかけ流しの硫黄温泉の良い宿でした。



1日目は晴れで気温は高い日でした。風もあまりありません。朝食は6時に始まり7時に打ち合わせをし、バス停まで宿の送迎して貰って観光センターでトイレを済ませゆったりと、9時10分には位ヶ原山荘バス終点到着、登山届など済ませ、9時半頃山に向けてシール登行開始、3コースに分かれて行動しました。剣ヶ峰、摩利支天、肩の小屋コースです。気温の高さに少し苦しみながらも急斜面を順調に登りました。

私が参加したコースは摩利支天コースで、3回位小休憩を取って12時前に尖った山頂より40m位低い按分付近にて昼食休憩を35分位取り、スキー滑降を位ヶ原山荘目指して開始しました。3回位区切って滑るとあっという間に降りてしまいました。下の方は樹木も多くなります。雪面も緩んで重たい雪で滑るのも苦労します。数年前同じ時期に三本滝グレンデ付近まで雪が残っていることもありましたが、今年は全然ダメで、位ヶ原からバスで下山となります。バスは15時24分発で2時間あまり待機となります。私は暖かい道路の上でしばし昼寝をしてしまいました。

最長コースの剣ヶ峰コースの方々も予定通り、山頂までたどり着き、急斜面の広く長く良いコースを滑走したそうです。

この日、登のバスは5台で、観光センターと三本滝の駐車場はけっこう混んでいました。2日目は朝から雨で山行は中止です。



私としては2年(?)ぶりの山スキーでしたので1日でも雪山に登り、スキーが滑れて嬉しかったです。本当は剣ヶ峰に登り滑りたかったが、体力不足もあり剣ヶ峰を目指していたら苦労していたかとも思いました。宿は大きく、トイレやラウンジや部屋などリニューアルされていて快適でした。夕食では馬刺しや白菜などたっぷり野菜の海産鍋やウドなど季節の山菜など美味しく頂きました。直滑降 加藤

梅池方面、金山沢源頭で発生した雪崩報告

ぶなの木 奥村

(概要) 雪崩に遭遇した日の山行は、G山スキーグループ4人と私の合計5人で梅池ロープウェイを利用して金山沢源頭稜線を目指して行けるところまでハイクアップし、金山沢を滑り降りる計画で実施した。

ロープウェイの山上駅ではガスも晴れて、数パーティと相前後しながら梅池自然園から梅池平を横切り、さらに金山沢源頭をハイクアップ中、稜線にいた2名のスキーヤーのうち1名が滑走を始めたところ、こちらへ向かって雪崩が発生、右手の尾根へと待避した。被害はなし。

1 発生日時： 令和3(2021)年4月25日午前11時40分頃

2 場所： 小蓮華山東方稜線金山沢源頭

3 天候： 詳しいデータは記録していない。当日、早朝梅池ロープウェイ駅では小雨が降ったが20分位でやんだ。ロープウェイ乗車中は「濃霧」山上駅からは、好天で視界良好だった。

4 関係者： 私たちの山行グループ5人、雪崩の直前、直後に稜線から滑走したスキーヤー2名、
※人的、物的とも被害なし

5 雪崩の状況： 紙面の都合で一部省略。 稜線にいる2名のスキーヤーのうち1人が滑り出した。私のいる谷へ向かってだ。私は「今、滑り出すの!？」と思ってこの人の滑走を見ていたところ、滑り出して直ぐに(そう感じた)彼の後方?(と思う)、から薄い雪崩が発生、そのスキーヤーにまで雪崩が達して、一瞬スキーヤーが(サーファーが波に乗るように)雪崩れに乗ったように見えた。直後スキーヤーはバランスを崩して転倒したが、直ぐに起き上がって右の方(スキーヤーからは左方向)へと待避した。

その雪崩は、表層の10数cm位の雪が平流の川の流れるように落ちているように見え、「サーザー」と雪の滑る音がしていた。

---尾根直下まで待避したところ、ちょうどつい今し方私が立っていたところを表層の雪がナメ滝を滑る水流のように流れ落ちていった。

6 その他： 梅池 ゴンドラ駐車場では前日深夜と当日早朝

に小雨が降った。雪崩の発生した稜線では、雨混じりの中、数センチの新雪が積も

ったと思われ、雪崩の発生しやすい状況であることは容易に想定できた。稜線のスキーヤー2名と私たちはお互いに目視できた。(こちらからは見えた)

スキーヤーが谷に居る私たちに向かって滑り出したこと、そして何よりも、私たちが谷へでたことは大きな反省点としてこの経験を脳裏に焼き付け、仲間と共有し、今後の山行の安全を期したい。

